



十一月十一日、六年生百三十九名を対象に「出張科学実験教室」が開かれました。おもしろ科学工房の三浦宏子先生と、松尾サイエンスの方々が講師をして下さり、小型火薬エンジンを使ったロケットを作成しました。児童一人一人が、真剣に先生の話を聞きながら、世界に一つだけのロケットを完成させました。六年生百三十九名、全てのロケットが秋晴れの空へと、夢と希望を乗せて高く高く打ち上がりました。

モデルロケット打ち上げ

松尾育成会便り

平成27年度
第34号

松尾地区まちづくり委員会
公民館 育成部
青少年健全育成会

六年 岩下 謙伸

おもしろ科学実験教室でロケットを作ってみて、カレンダーやフィルムケースでロケットが出来るのは、すごいと思いました。作るのには細かい作業をする所もあって大変だったけどスタッフの方々がわかりやすく教えてくれたので、スムーズに出来ました。発射する時にどこにでもあつたようなカレンダーやフィルムケースなどでこんなに飛ぶロケットが出来るのはすごいなと思いました。楽しいことを体験出来てよかったです。

松尾キンボールクラブ

創立十周年を迎えて

会長 田中利治

私たち「松尾キンボールクラブ」は、平成十七年の夏に「健康作り、仲間作り、子供の健全育成」を目標に設立し、今年で十年の節目を迎えることができました。今まで支えていただいた多くの皆様に感謝いたします。

この十年間で多くの子ども達が巣立って行き、当時の小学生も今では立派な社会人となりクラブで子供達の指導にあたってくれています。

毎週の練習では、基礎的な運動能力の向上とコミュニケーション能力の向上を目指して毎週木曜日に緑中の体育館で子供から大人までが楽しく身体を動かしています。

今年で十周年記念行事として飯田下伊那から参加者を募り、十一月一日に県体育館でキンボールスポーツ講習会と飯田市キンボール交流大会を開催しました。講習会では日本キンボール連盟にお願いし、ワールドカップの日本代表選手を講師に招いて基礎からジュニアの指導方法までレベルの高い講習を受けました。



飯田市キンボールスポーツ大会
講習会では日本キンボール連盟にお願いし、ワールドカップの日本代表選手を講師に招いて基礎からジュニアの指導方法までレベルの高い講習を受けました。



夜は懇親会を兼ねて十周年祝賀会を公民館和室で行いました。まちづくり委員会小本曾会長、松澤育成会長、木下市議会議員、県連盟等の出席をいただき、皆で十年を振り返り、このクラブが更に十年二十年と続くことを誓い合いました。

まだまだキンボールはマイナーなスポーツで、飯田下伊那での競技人口は少なく対外的に試合をするのも難しい状況です。私達は長野県をリードするクラブチームとして競技の普及にも努めて行きたいと思っています。

松尾卓球教室

体を動かすことを楽しむ

スタッフ 藤本 泰夫

二十七年年度の松尾卓球教室は、小学校三年生から小学校六年生までの二十三人が、毎週日曜日の午前中、

クラブ・教室だより

松尾小学校体育館で練習に励んでいます。

競技技術の向上はもちろんですが、まずは体を動かすことを楽しむ。そしてスポーツをすることの楽しさを感じてもらうことを念頭に、スタッフ一同、子供と一緒に卓球を楽しむことを心がけています。

毎年二月に行われる飯田市長杯だけは、全員参加することになっています。残念ながらスタッフの力量と練習量の豊富な他のクラブの子供と比べ、競技技術の差が歴然と有りますが、負けることの悔しさ、自分の未熟さを体験します。このことは、当人にとっては大変辛いことですが、大会出場後の子供たちは、自分なりに考え、工夫をしようとするようになります。そのことで競技技術ばかりでなく、人としての成長を感じます。それがスタッフの励みとなっています。

最後に、スタッフが不足しています。未経験の方でもかまいません。子供と一緒に楽しく体を動かすことは健康にも大変よいことだと思います。ご協力いただける方がおられたらご連絡ください。お待ちしております。



松尾和太鼓教室

たのしいたいこ

一年しおざわあかり

わたしが、たいこをはじめたのはおねえちゃんのたいこのれんしゅうのけんがくについていてせんせいに「やってみる？」ときかれたのがはじまりです。さいしよはおしえてもらったようにできなくてすくくろろうしました。だんだんできるようになってたいこのはるびようになれるようになりました。たいこのはるびようはさいしよは、きんちゅうしたけどだんだんたのしくなってきました。いまあたらしいきよくのれんしゅうをしています。むずかしいけどがんばります。

五年 矢澤しゅん

太鼓教室で、ぼくが頑張ったのは、伊那谷芸術祭での発表です。ぼくが特に頑張ったのは、「夏祭り」という曲の、四人で打つ、中打ちというところです。練習では、なかなかもう一人とあわなくて苦労しました。本番では、もう一人とはあつたけど、他の二人と合わず、失敗してしまいました。次は上手に打ちたいです。

太鼓教室で、楽しいことは、みんな仲良く稽古ができることです。少人数だからかもしれないけれど、学年関係なく、楽しく、稽古や相談ができるので、とてもおもしろいです。ぜひ、太鼓教室に入ってください。

六年 榎園 勝利

ロケットをつくっているときは熱中するほど楽しかったです。また、むずかしかったけど、松尾サイエンスや育成会、おもしろ科学工房のだけれがとでもいねいに教えてくれたのでうれしかったです。飛ばすときはカウントダウンでドキドキしました。そして飛ばしたときはとても感動しました。また、宇宙の話は地球が三mmだとするとぼくらはとつてもとつても小さい存在なんだなと思いました。そして太陽から水星までの距離を見たときとても遠いなあと感じました。とつても楽しかったです。

六年 麻生 りん

ロケットが、ちゃんと飛ぶかしんばいだったけど、ちゃんと飛んで、うれしかったです。作るなんて、むずかしそうって思ったけど、分からない所は、教えてくれたので、とてもかんたんに作れました。カレンダーをまく所は、むずかしかったけど、飛ばす時とか、ロケットが完成したときは、楽しかったし、うれしかったです。



一番大変だったのは、ロケットの一番先のところを、穴があかないようにして、三角形にまるめるのが大変でした。そして、いよいよ、ロケット発射!! 私はドキドキしてました。うちあげが始まったとき、「シュー！パッ！」とパラシュートが開いて、ロケットをおいかけてました。楽しかったです。

子どもたちの携帯・スマホ事情

松尾小学校 校長



林 司 携帯・スマホの所有数等について九月にアンケートを行いました。

「わが校の友だち」が七人。特にこれには、なりすましにより騙されたり、脅されたりなどの危険性があることを学ぶ必要があり...

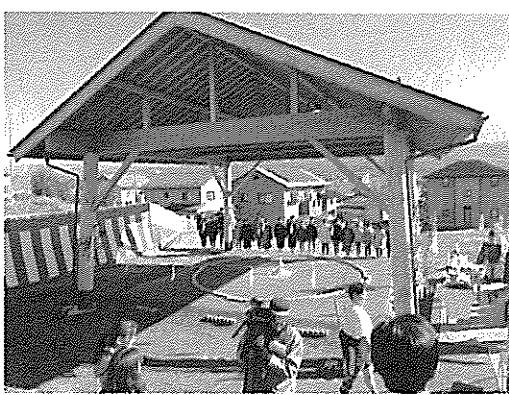
「学校の友だち」が七人。特にこれには、なりすましにより騙されたり、脅されたりなどの危険性があることを学ぶ必要があり...

「学校の友だち」が七人。特にこれには、なりすましにより騙されたり、脅されたりなどの危険性があることを学ぶ必要があり...

「学校の友だち」が七人。特にこれには、なりすましにより騙されたり、脅されたりなどの危険性があることを学ぶ必要があり...

「学校の友だち」が七人。特にこれには、なりすましにより騙されたり、脅されたりなどの危険性があることを学ぶ必要があり...

城公園に新土俵完成!



十一月十九日、城公園の一角に屋根付き新土俵の完成を祝う「土俵開き」を行った。

新土俵は、松尾地区財産区有林から樹齢九〇年のヒノキを伐り出し、柱とした。

「まけるな」の気持ちと感謝の心。松尾相撲クラブ代表・監督 清水里香

昨年十一月に屋根付き土俵が完成しました。松尾小学校に相撲部ができて七年、相撲クラブができて四年がたちました。

毛賀地区

おやす作りと餅つき大会

支部長 宮内直樹

毎年十二月には、正月飾りのおやす作りと春に子供たちが田植えをした御神田で収穫した餅米を使って餅つき大会を行います。

子供たちに伝統を継承して、生を抱える家庭では正月飾りといえはおやすが定番です。

餅つき大会は、昔ながらの杵と臼を使い本格的に行います。今時、各家庭で杵と臼を使った餅つきは珍しいので、みんな興味津々の様子で我先にと杵を取り合います。

餅つき大会の様子。子供たちが一生懸命に餅つきをしています。



地区だより

明地区

世代交流おやす作り

支部長 岩下篤司



十二月二十日に明分館主催による世代交流おやす作りが行われました。

おやす作りは、高年齢者クラブの方々の会の方々にお願いして行なっています。

おやす作りは、高年齢者クラブの方々の会の方々にお願いして行なっています。

上溝地区

みんなで作るおんべ

支部長 原 偉樹

一月十日、上溝区のおんべが行われました。十二月のうちから、河川敷の草刈り、川を渡しての竹取りなどを、地区の方々に協力いただいたり、年が明けてからは、二段の飾り傘を取り付け、一週間のお披露目をしました。

おんべは勢いよく燃え上がり、おんべは勢いよく燃え上がり、おんべは勢いよく燃え上がり...



餅を焼き、おいしそうに食べていました。昔から残る地区の行事に子供が参加し、大人と一緒に次の世代に残していけたらと思います。

も、いままでの子ども達の頑張りや、地域の皆さんが見て下さったことが、何よりもうれしかったです。

元来、松尾は前日本相撲連盟会長の故松村豊先生の出身地でありましたが、武道としても競技としても(飯田下伊那も含め)相撲不毛の地でありました。

七年前の校庭の土俵の完成で松村先生の蒔かれた「相撲の種」は地域の方々・保護者の皆様、学校と言う三位一体で育ててくださり、根がはりました。

松尾相撲クラブは全国でも類をみない、学校と密接な立ち位置にある活動です。クラブと相撲部は車の車輪のように、一つ揃うことで大きく機能していると考えます。

「まけるな相撲大会」のように全校生徒が土俵の上で相撲をする学校はほとんどありません。

土俵の上は、なにもなく気が散る物もありません。そんな土俵の中で、挨拶・礼儀・清掃・仲間への思いやり、いま此処にいることへの感謝の気持ちなどが身につけやすいと考えます。

事、当たり前のことを当たり前に取り組んでいくことは大変難しいです。

この土俵は、地域の方々、

全生徒で手作りで作り上げてくださった土俵です。この手作りの土俵で、子どもたちにも体もたくましく育てて行って欲しいと切に願っております。

私は、今年度、相撲クラブの主将をします。松尾らしい礼儀正しき、仲間を思いやる気持ちを大切に、一年間みんながんばっていきましょう。

今年度は、春、秋の飯伊わんぱく相撲の出場はもちろんです。県外の郡上市や石川県の大会参加、木曾、塩尻、長野での交流練習に参加し、普段練習できない強い人達とい練習ができました。

いつも稽古は、水曜日の夕方と土曜日の午前中に行っています。四股やすり足、ぶつかりなどの基本練習をした後、試合をします。

私は、今年度、相撲クラブの主将をします。松尾らしい礼儀正しき、仲間を思いやる気持ちを大切に、一年間みんながんばっていきましょう。

私は、今年度、相撲クラブの主将をします。松尾らしい礼儀正しき、仲間を思いやる気持ちを大切に、一年間みんながんばっていきましょう。

私は、今年度、相撲クラブの主将をします。松尾らしい礼儀正しき、仲間を思いやる気持ちを大切に、一年間みんながんばっていきましょう。

私は、今年度、相撲クラブの主将をします。松尾らしい礼儀正しき、仲間を思いやる気持ちを大切に、一年間みんながんばっていきましょう。

めいの先生方が俵を入れて下さりようやく完成しました。

十二月十九日に、新土俵開きが行われました。神事の後、まちづくりの皆さん方の前で感謝の気持ちを込めて四股をふみました。

「まけるな」の気持ちと感謝の心。松尾相撲クラブ代表・監督 清水里香

「まけるな」の気持ちと感謝の心。松尾相撲クラブ代表・監督 清水里香

「まけるな」の気持ちと感謝の心。松尾相撲クラブ代表・監督 清水里香

「まけるな」の気持ちと感謝の心。松尾相撲クラブ代表・監督 清水里香

「まけるな」の気持ちと感謝の心。松尾相撲クラブ代表・監督 清水里香

「まけるな」の気持ちと感謝の心。松尾相撲クラブ代表・監督 清水里香

